

【ふくい地域】

来場者の心キャッチ プロ集結 犬の妙技 ディスクゴルフ 三国で大会開幕

2013年6月9日



フライングディスクをキャッチする犬の妙技を見学する来場者たち

「第二回福井オープンディスクゴルフトーナメント」(日本ディスクゴルフ協会主催)が八日、坂井市三国町安島(あんとう)の市海浜自然公園のディスクゴルフのコースで始まった。ディスクゴルフ関連のイベントを盛り込んだフェスティバル(坂井市など主催)も繰り広げられた。九日まで。

エリアブロック大会シリーズのうちの一つとなるトーナメントには、昨年の日本チャンピオン、菊地哲也選手(東京)をはじめ、秋田、福島、富山、愛知、京都、大阪など県内外からプロ選手三十五人が出場。四人一組でニラウンドを周り、初日は予選の36ホ

ールで腕前を競った。

プロが投げるフライングディスクはスピードがあって正確性も高く、バスケット型の専用ゴールに次々と吸い込まれていた。

最終日の九日はプロの予選の残り18ホールの後、準決勝と決勝各9ホールが行われる。アマチュア部門もあり、市内外から二十三人が出場の予定。

同公園芝生広場で初めて催されたフェスティバルでは、雄で四歳のボーダーコリー「リップル」によるディスクドッグのデモンストレーションがあり、空中に投げられたディスクを見事にキャッチし、来場者から盛んな拍手が送られた。フリッピー教室、ドッジビーやディスクゴルフ体験も催された。(川口信夫)



ディスクを投げるプロ選手たち=いずれも坂井市海浜自然公園で

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.